



グレコローマン 130kg 級  
2等陸曹 奥村 総太

フリースタイル 74kg 級  
2等陸尉 高谷 大地

フリースタイル 65kg 級  
3等陸尉 乙黒 拓斗

グレコローマン 87kg 級  
2等陸曹 阪部 創

フリースタイル 125kg 級  
2等陸曹 山本 泰輝

グレコローマン 60kg 級  
2等陸曹 河名真偉斗

フリースタイル 86kg 級  
2等陸曹 石黒 隼士

## 令和5年度全日本選抜レスリング選手権大会

令和5年6月15日(木)から18日(日)に、東京体育館(東京都渋谷区)において「令和5年度明治杯全日本選抜レスリング選手権大会」が開催され、第2教育課レスリング班高谷大地2等陸尉他34名が参加した。

本大会は、世界選手権代表選考を兼ねており、2022年天皇杯での成績(優勝)と今大会での成績(優勝)により各階級において代表が決まる。2大会の優勝者が異なる場合、それぞれの優勝者によるプレーオフで代表を決定する。世界選手権でメダルを獲得すれば、2024年パリオリンピック代表が内定するため、熾烈な戦いが繰り広げられた。

レスリング班は、7階級において優勝、内5階級において世界選手権代表獲得の成果を納めた。



グレコローマン 60kg 級に出場した河名真偉斗2等陸曹は、準決勝を4-1で勝ち進み決勝では稲葉選手(日体大大学院)を5-4で破って悲願の初優勝を果たし、世界選手権代表を決めるプレーオフへの出場を決めた。試合後「この大会で優勝してプレーオフに出ることを目標としてきた。優勝できてうれしい。」と目に涙を浮かべながら喜びを語った。また今後について「世界選手権に向けてスタートに立てた。プレーオフに勝利し、世界選手権に行く。オリンピックは夢に見てきた。今は夢ではなく叶える目標となった。」と力強く決意を述べた。河名2曹は、男子グレコローマンスタイル優秀選手賞も受賞した。

グレコローマン 87kg 級に出場した阪部創2等陸曹は予選をテクニカルフォールで2戦とも無失点で決勝に進んだ。決勝では、同じく予選をテクニカルフォールで勝ち進んだ角雅人3等陸曹との対決となった。2022年天皇杯でも決勝戦で戦った二人は一歩も譲らない戦いを見せ、1-1でポイントの優勢により阪部2曹が優勝を手に入れた。試合後「この日のために準備をしてきた。勝ててうれしく思う。」と喜びを口にしたものの、2週間後のプレーオフに向け「細かいところを修正して、必ず勝つ。」と決意を述べた。なお、プレーオフは、角3曹との対決となり世界選手権代表を争う。



グレコローマン 130kg 級に出場した奥村総太2等陸曹は、予選を2戦ともにテクニカルフォール、9-0、8-0と無失点で勝利し準決勝に進んだ。準決勝も、テクニカルフォール9-0で勝ち進むと、迎えた決勝戦では小畑選手(日体大)に1-1(ポイント優勢)で勝利し明治杯初優勝した。昨年度天皇杯でも優勝しているため、世界選手権代表を勝ち取った。試合後「いつもの動きができた。世界選手権ではオリンピック出場権を獲得して、オリンピックで金メダルを取りたい」と先を見据えた目標を語った。







フリースタイル 65kg 級に出場した東京 2020 オリンピック金メダリストで昨年の天皇杯覇者である乙黒拓斗 3 等陸尉は、大きな注目を集める中、2 回戦から出場し 2-0 で勝利、準決勝は右足を痛めるアクシデントに見舞われながらも 3-2 で勝ち進んだ。決勝戦は、2022 年天皇杯決勝戦と同じく安楽選手 ((株)nobitel) との対戦となった。足の不安を感じさせない戦いを見せ、9-0 で勝利を決めた瞬間、マットを叩き喜びの感情をあらわにした。優勝と合わせて世界選手権代表を勝ち取り、オリンピック連覇に向けての大きな一歩を踏み出した。試合後「怪我也有り、厳しい戦いだったが落ち着いて戦えた。嬉しく思う。」と感想を語った。

昨年度天皇杯を優勝している高谷 2 尉はフリースタイル 74kg 級に出場した。2 回戦から出場し、開始 2 分 38 秒にテクニカルフォールで勝利すると、準決勝も 5-0 で勝ち進み、迎えた決勝は三輪選手 (ALSOK) を試合時間 3 分 45 秒のテクニカルフォールで破り、2 年連続の優勝と世界選手権への切符を手に入れた。試合後、「決勝は無失点で、いい結果が出せた。自分の思った試合ができなければ世界では勝てない。」と戦いを振り返りながらも「まだ、自分は全然だめだと思う。もう一回り大きくなって世界に挑みたい。」と次への戦いを見据えていた。



今大会の優勝で世界選手権代表を決めたいフリースタイル 86kg 級石黒隼士 2 等陸曹。第 1 シードで 2 回戦から出場した石黒 2 曹は、開始 2 分 30 秒に 10-0 のテクニカルフォールで勝利すると、準決勝も 3-0 で勝利し無失点で決勝に進んだ。決勝は昨年の 92g 級世界選手権代表及びオリンピック 3 大会連続出場中のレジェンド高谷惣亮選手 (拓殖大学職員) との対決となった。果敢に攻め続け、3-0 で優勝と世界選手権代表を決めた。試合後「一度も勝てていなかった高谷選手を倒すことができ、大きな自信となった。」と語った。



フリースタイル 125kg 級は 4 者による総当たり方式のリーグ戦で行われた。この階級の第一人者山本泰輝 2 等陸曹は安定した強さを見せた。

予選において 1 戦目は開始 47 秒 10-0、2 戦目は 1 分 26 秒 10-0 のテクニカルフォールで圧倒的な強さを見せ勝利し、3 回戦に進んだ。3 回戦では福井選手 (天理大学コーチ) を 2-1 で下し、今大会無敗で 5 大会連続通算 6 度目の優勝を決め世界選手権代表となった。試合後「世界選手権に向けて頑張りたい」と抱負を述べた。



### 総合成績 (メダリストのみ)

#### フリースタイル

- 2位 57kg 藤田 雄大 2等陸曹 (三重県)
- 3位 61kg 井出 光星 陸士長 (長野県)
- 優勝 65kg 乙黒 拓斗 3等陸尉 (山梨県)
- 優勝 74kg 高谷 大地 2等陸尉 (京都府)
- 優勝 86kg 石黒 隼士 2等陸曹 (東京都)
- 2位 97kg 園田 平 2等陸曹 (滋賀県)
- 優勝 125kg 山本 泰輝 2等陸曹 (静岡県)

#### グレコローマンスタイル

- 優勝 60kg 河名真偉斗 2等陸曹 (広島県)
- 3位 67kg 北條 良真 陸士長 (岡山県)
- 優勝 87kg 阪部 創 2等陸曹 (和歌山県)
- 2位 角 雅人 3等陸曹 (佐賀県)
- 優勝 130kg 奥村 総太 2等陸曹 (滋賀県)

#### 女子フリースタイル

- 3位 53kg 奥野 春菜 3等陸尉 (三重県)
- 3位 57kg 今井 佑海 2等陸曹 (京都府)
- 2位 59kg 徳原 姫花 陸士長 (高知県)

#### 総獲得数

● : 7   ● : 4   ● : 4

